

2024年1月24日

各位

コーユーレンティア株式会社

主要トラック配送時におけるCO₂排出分のカーボンオフセット実施結果（お知らせ）

コーユーレンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 梅木 孝治、以下「コーユーレンティア」）は、地球温暖化対策への貢献とレンタルサービスの価値向上を目的として、当社子会社であるコーユーロジックス株式会社の主要トラック（約60台）が配送時に排出した2023年分のCO₂について、カーボンオフセットを実施しましたのでお知らせします。

記

1. 背景

昨今では2025年の温暖化ガス排出ゼロの実現に向け、政府においてもグリーントラストフォーメーション（GX）推進法の改正を目指すなど、官民をあげた排出量削減に向けた取り組みが加速しています。

当社グループにおきましても、ESG経営の一環として2022年にマテリアリティを策定し、商品開発から営業、物流までをバリューチェーンとして捉え、脱炭素に向けグループ一体として取り組みを強化しています。今般、2023年6月にお知らせした宣言^{*1}に則り、主要トラックが配送時に排出した、2023年分1,000tのオフセットを実施しました。

2. オフセットクレジットの概要

（1）クレジット名（購入先）

一般社団法人 more trees（モア・トゥリーズ）^{*2}を通じたJ-クレジット（森林吸収）

（2）内容

- ・高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト
- ・鳥取県芦津財産区による森林整備活動を用いた温室効果ガス排出削減事業-芦津の森いきいき木こりプロジェクト-
- ・三重県宮川上流部 宮川森林組合による持続可能な森林経営促進型プロジェクト
よみがえれ森林！！林業活性化に向けて～森の声をかたちに～
- ・宮崎県諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクト

（3）購入量

1,000t（2023年1月～12月）

（4）購入日

2023年12月21日

3. オフセット証書とプロジェクトイメージ



鳥取県智頭町芦津

今後レンティアグループでは、継続的にカーボンオフセットを実施してまいります。また使用電力を2030年までを目標として、再生可能エネルギー100%に転換するとともに、営業車をEV車等の環境配慮車へ順次移行するほか、エコ・ドライブの推進によりガソリンの消費量も削減し、2030年までにCO₂排出量50%削減（2018年比）を目指します。

※1 参考リリース

<https://www.koyou.co.jp/news/img/9bb05162c6c2e82cc0f12a8acc02d9a6b1359c70.pdf>

※2 more trees について (<https://www.more-trees.org/>)

音楽家 坂本龍一氏が創立し、建築家 隈研吾氏が代表を務める森林保全団体。

地域との協働で森林保全を行う「more trees の森」の展開、国産材を活用した商品やサービスの企画・開発、セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指している。

【本リリースに関するお問い合わせ】

コーユーレンティア株式会社 IR 広報室 TEL:03-6478-9724 koho@koyou.co.jp

以上